

# 早期発見し健康守ろう

公明の後押しでNPOがセミナー

心の病気などを平易に解説

茨城・取手市

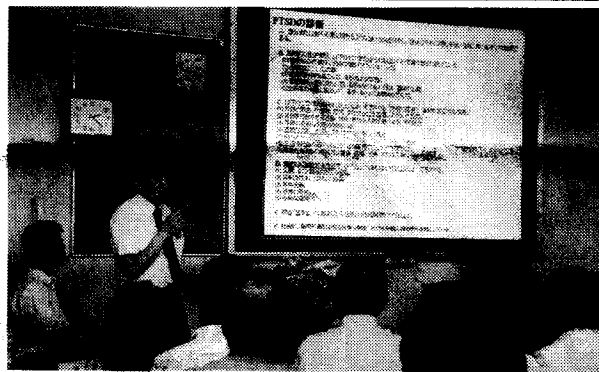
茨城県取手市でこの合病院・精神科部長) ほど、特定非営利活動法人(NPO法人)「きぼうのこじ」(中村博 理事長)による、「こころの健康セミナー」が開催された。

市議会公明党(貫井 徹幹事長)の後押しで実現したもので、同NPO法人理事の榎葉俊一医師(静岡済生会総

が、うつ病や不安障害など心の病気について講演した。

榎葉氏は、人間の「こころの力」には大別すると①描く力(イメージ)②前向きになる力(ポジティブ)③調節する力(コントロール)があり、これらの働きが阻害されること

で心の病気になると説く。体の病気に比べ心で自覚しにくいと指摘し、早期発見には、誰でも心の負担状況が分かる「こころのものさし」が必要だと強調した。



心の病気について講演する榎葉氏(左から2人目)

その上で、脈拍から自律神経の変化を測定し、心の負担とうつ病のリスクを調べる「うつ病リスクチェックシステム」を「ものさし」の一つとして紹介。講演終了後には、希望する参加者に対し同システムを使用し検査を行った。

一方、翌日には北茨城市でも同セミナーが開催され、東日本大震災の被災者など多くの人が参加した。

1423.7.20付

公明新聞 6面